

2025年度 授業シラバス

科目名	映像表現	必修 選択	必修	年次	3	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

番組制作の授業とリンクし、制作内容の予習、復讐を行う。台本作成、スケジュール管理、撮影・編集・MAの基本ノウハウを学ぶ。ナレーション台本を基にコンテ作成、編集、MAを行う。

【到達目標】

テレビ番組制作に必要な実践的な知識を学ぶ。アシスタントディレクター、ディレクター、がする仕事の理解。予算管理。進行表制作。台本製作。TVの制作としての基礎力を身に付ける。

【教員の略歴】

制作プロダクション・MBS企画にて、毎日放送を中心に、ドラマ、バラエティ、情報番組、ドキュメント、報道など多数の番組のディレクター、プロデューサーを務める。現在、映像クリエイターとして、テレビ番組以外にも、ケーブルテレビ、企業プロモーション、自主映画の監督などを務める。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	番組制作の流れ	①	ナレーション台本→コンテ作成
②	ディレクター、ADの作業について	②	制作期・撮影 ①
③	撮影について(カメラワーク、ENGロケ)	③	制作期・撮影 ②
④	ロケ台本、スケジュールの作成	④	制作期・編集 ③
⑤	ロケハン、ロケ交渉について	⑤	制作期・編集 ④
⑥	撮影について(ENG)	⑥	制作期・編集、ナレーション収録
⑦	撮影について(CM)	⑦	制作期・MA
⑧	撮影について(ドラマ)	⑧	プレビュー、反省会
⑨	編集作業について(フォーマットと仕組み)	⑨	ナレーション台本作成(2分番組)
⑩	編集作業について(実技)	⑩	コンテ作成
⑪	編集作業について(実技)	⑪	制作期・撮影
⑫	MAについて(フォーマットと仕組み)	⑫	制作期・撮影、ナレーション収録
⑬	MAについて(実技)	⑬	制作期・MA
⑭	MAについて(実技)	⑭	制作期・MA
⑮	スタジオ収録について	⑮	プレビュー、反省会
準備学習 時間外学習	なし	評価方法	試験、出席率、授業への取り組む姿勢、態度、課題の提出状況。
受講生への メッセージ	疑問、不明な点は遠慮なく質問して下さい。	使用教科書 教材 参考書	テレビモニター、編集用PC

2025年度 授業シラバス

科目名	映像基礎知識	必修 選択	必修	年次	3	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 映画の分析と並行しながら、シナリオ創作の基礎的な実習(実習はグループでの取り組みを予定しています)。							
【到達目標】 オリジナル脚本を1年に数本完成させる。							
【教員の略歴】 企業VPなどの制作歴多数。ドキュメンタリー映画なども手掛けている。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	オリエンテーション／脚本概論	①	演習；ストーリーラインの合評
②	映画作品を見る	②	演習；ストーリーラインの構成を再考する①(箱書き)
③	映画作品を見る(続き)／分析項目の概論	③	演習；ストーリーラインの構成を再考する②(箱書き)
④	映画の分析①／演習；登場人物を創作する①	④	演習；ストーリーライン提出
⑤	演習；登場人物像を創作する②	⑤	講義；シナリオの形式／映画の分析⑤
⑥	映画の分析②／演習；状況設定を創作する①	⑥	演習；1シーンを創作する①
⑦	演習；状況設定を創作する①	⑦	演習；1シーンを創作する②
⑧	映画の分析③／演習；エンディングとオープニングを創作する①	⑧	演習；1シーンを演じ、撮影してみる①
⑨	演習；エンディングとオープニングを創作する②	⑨	演習；1シーンを演じ、撮影してみる②
⑩	映画の分析③／演習；プロットポイントを創作する①	⑩	演習；1シーンを演じ、撮影してみる③
⑪	演習；プロットポイントを創作する②	⑪	テスト課題
⑫	映画の分析④／演習；登場人物など各項目の再考	⑫	演習；シナリオを創作する①
⑬	テスト課題	⑬	演習；シナリオを創作する②
⑭	演習；ストーリーラインを創作する①	⑭	演習；シナリオを創作する③(シナリオ完成)
⑮	演習；ストーリーラインを創作する②→提出	⑮	演習；シナリオ合評
準備学習 時間外学習	課題が授業内で提出できなかった場合は宿題になります。	評価方法	出席率・課題・授業態度・試験など
受講生への メッセージ	「おもしろい映画を撮るにはどうすればいい？」ということ、授業を通して考え話しあえる時間になればと思います。自分の考えやアイデアを話すことに恥ずかしがらず(徐々に慣れながら)参加してもらったほうが得るものは大きいと思っています。	使用教科書 教材 参考書	・筆記用具 ※授業内で参考図書など案内するかもしれませんが、必ずしも購入する必要はありません。

2025年度 授業シラバス

科目名	グラフィックデザイン	必修 選択	必修	年次	3	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 Photoshop・Illustrator、2つのグラフィックソフトを使用し、実践的な課題を通して基礎固めを徹底的に行う。							
【到達目標】 PhotoshopとIllustratorの基本操作と技術を取得し、デザインする上でのベースを身につける。							
【教員の略歴】 デザイン会社を経て、2016年に独立。グラフィックデザイナーとして17年目。紙媒体を中心に、幅広いジャンルを製作。JAGDA(日本グラフィックデザイン協会)会員。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	自己紹介・使用ソフトの基本操作	①	前期の復習
②	Illustrator基礎① 基本操作	②	Photoshop基礎① 基本操作
③	Illustrator基礎② ベジェ曲線とトレース	③	Photoshop基礎② 写真加工・補正
④	Illustrator基礎③ パスとテキスト	④	Photoshop基礎③ レイヤー・マスク
⑤	Illustrator基礎① マップ製作1	⑤	Photoshop基礎④ パスと切り抜き
⑥	Illustrator基礎① マップ製作2	⑥	Photoshop基礎⑤ 合成
⑦	Illustrator課題② グラフ製作1	⑦	Illustrator&Photoshop応用①
⑧	Illustrator課題② グラフ製作2	⑧	Illustrator&Photoshop応用②
⑨	Illustrator課題③ タイポグラフィ製作1	⑨	Illustrator&Photoshop連携① 表現の構成1
⑩	Illustrator課題③ タイポグラフィ製作2	⑩	Illustrator&Photoshop連携② 表現の構成2
⑪	Illustrator課題④ レイアウト1	⑪	Illustrator&Photoshop連携③ 表現の構成3
⑫	Illustrator課題④ レイアウト2	⑫	後期課題① 実践課題制作1
⑬	前期課題① 実践課題制作1	⑬	後期課題② 実践課題制作2・ブラッシュアップ
⑭	前期課題② 実践課題制作2・ブラッシュアップ	⑭	後期課題③ 実践課題制作3・ブラッシュアップ
⑮	前期課題③ 実践課題制作3・プレゼン&講評	⑮	後期課題④ 実践課題制作4・プレゼン&講評
準備学習 時間外学習	空き時間にできるだけパソコンでIllustrator, Photoshopを使って遊んでみましょう。ソフトを触っている時間が長ければ長いほどグラフィックデザインの技術もセンスも上達します。	評価方法	試験、出席率、授業態度
受講生への メッセージ	デザイン作業の参考のためネット検索も多用しますが、日本語を用いるだけでなく「英語」で検索するクセをつけるとヒットする情報の幅が飛躍的に広がります。苦手だからと臆せず積極的に英語を打ってみましょう。	使用教科書 教材 参考書	PC room備え付けパソコンのAdobe Illustrator, Adobe Photoshopを使用

2025年度 授業シラバス

科目名	セルフプロデュース	必修 選択	選択	年次	3	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 タレントとして必要な考え方・カ・オーディションの心構え・対策を習得する またエンターテインメント業界のマインドを植えつけ、業界に出た際の活躍に繋げる。							
【到達目標】 オーディション合格・タレントとしての気構え・身構え・心構えを身に着ける。							
【教員の略歴】 株式会社アーティストハウス・ピラミッド、プロダクションにてマネージャーとして様々なジャンルのタレントを担当。 本校ではデビューセンターとしてデビュー系学生の担当の他、マネージャーの経験を活かし毎週タレントマネージャーコースの授業も受け持つ。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	自己紹介・エンタメ業界の今を知る	①	目標設定の確認・フィードバックと考察
②	1年間の目標設定・SNSの重要性について知る	②	プレゼン力を身に着ける
③	目標設定の発表・フィードバックと考察	③	作品鑑賞会
④	コンボジ対策①(ポージング・メイク)	④	作品鑑賞会のフィードバックと考察
⑤	コンボジ対策②(衣装)	⑤	芸能事務所リサーチ・発表・フィードバック
⑥	自分の強み・個性を知る	⑥	ゲスト③芸能事務所から学ぶ
⑦	芸能事務所について知る	⑦	オーディション対策①(自己PR編)
⑧	オーディションについて学ぶ(方法・ポイント)	⑧	オーディション対策②(実技編)
⑨	ゲスト①芸能事務所から学ぶ	⑨	オーディション対策③(面接編)
⑩	ゲスト①芸能事務所から学ぶフィードバックと考察	⑩	オーディション対策④(応用編)
⑪	作品について学ぶ①(映画編)	⑪	新人発掘・学内合同オーディションについて学ぶ
⑫	作品について学ぶ②(ドラマ編)	⑫	レベルチェックテスト
⑬	作品について学ぶ③(舞台編)／夏休みの課題発表	⑬	進路リサーチ(進路・企業の選定)
⑭	ゲスト②芸能事務所から学ぶ	⑭	オーディションリサーチ(オーディションエントリー選定)
⑮	レベルチェックテスト	⑮	年間総まとめ 総括
準備学習 時間外学習	難しい事は言いません。 常にエンターテインメント業界に興味を持って下さい。 そして日頃から挨拶を意識し、人と話すコミュニケーション を意識して下さい。	評価方法	試験、出席率、授業態度を重視します
受講生への メッセージ	常にエンターテインメント業界に触れる事を意識して下さい。 そして日頃から挨拶・人と話すコミュニケーションを意識し して下さい。	使用教科書 教材 参考書	特になし

2025年度 授業シラバス

科目名	表現基礎	必修 選択	選択	年次	3	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 人前に立つプロとして欠かせない発声や発音、滑舌、腹式呼吸、標準語アクセントなどの基礎技術を学びます。 徹底的に口を動かし、舌や耳を鍛え、魅力のある声を作っていきます。□ <input type="checkbox"/>							
【到達目標】 表現者として、きちんと聞き取れる滑舌と標準語アクセントの習得。							
【教員の略歴】 フリーアナウンサー・MC・ナレーター(セイブプロダクション所属) アパレル販売員からアナウンサーへ転身。現在はFM802・FMCOCOLOのヘッドラインニュース&ウェザーインフォメーション、朝日放送ラジオのABCニュース&天気予報を担当する他、企業VPナレーションやイベントMCなど幅広く活動している。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	オリエンテーション／正しい発声・腹式呼吸	①	キャ・ギャ・キ行の滑舌練習
②	正しい発音・口の体操	②	ヒヤ・ビヤ・ピヤ・チャ行の活舌練習
③	標準語アクセント	③	シャ・ジャ・ミヤ行の活舌練習
④	鼻濁音・母音無声化	④	ニヤ・リヤ行の滑舌練習
⑤	促音・長音・撥音	⑤	アクセントトレーニング
⑥	ア・ヤ・ワ行の滑舌練習	⑥	滑舌トレーニング
⑦	カ・ガ行の滑舌練習	⑦	基本例文①
⑧	カ ^o ・ナ行の滑舌練習	⑧	基本例文②
⑨	サ・ザ行の活舌練習	⑨	ナレーション①
⑩	タ・ダ行の滑舌練習	⑩	ナレーション②
⑪	ハ・バ行の滑舌練習	⑪	ナレーション③
⑫	パ・マ・ラ行の活舌練習	⑫	アクセント・滑舌トレーニング
⑬	アクセントトレーニング	⑬	後期試験
⑭	前期試験	⑭	後期試験のフィードバックと復習
⑮	前期試験のフィードバックと復習	⑮	ナレーション④
準備学習 時間外学習	・基礎練習を毎日行う。 ・配布プリントを声に出して読む。	評価方法	出席率、授業態度、試験
受講生への メッセージ	基礎技術は、週一回の授業だけで身につけることはできません。毎日、コツコツ自主トレーニングすることで身につけることができます。授業ではその練習方法をお伝えするので、日々練習に励んでください。やるかやらないかで、一年後に大きな差がつきます!!★	使用教科書 教材 参考書	授業で配布するプリントとアクセント辞典を毎回持参してください。

2025年度 授業シラバス

科目名	ヴォーカル&ダンス	必修 選択	選択	年次	3	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 実現場のエンタメステージのリハーサル過程の一部を丁寧にレッスン。							
【到達目標】 ミュージカルにおける発声・表現方法を習得し、実際の現場で即戦力となり得る人材を育てる。							
【教員の略歴】 関西歌劇団に所属しソプラノ歌手として多数のオペラで活躍。 現在はミュージカルや演劇メインの活動に移行し、様々なプロダクションや劇団での歌唱指導に加え自身もプレイヤーとして活動中。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	自己紹介・前期課題発表	①	基礎トレーニング・後期課題発表
②	基礎トレーニング・ソロ曲とソロキャスト曲レッスン	②	基礎トレーニング・ソロ曲とソロキャスト曲レッスン
③	基礎トレーニング・ソロ曲とソロキャスト曲レッスン	③	基礎トレーニング・ソロ曲とソロキャスト曲レッスン
④	基礎トレーニング・ソロ曲とソロキャストオーディション	④	基礎トレーニング・ソロ曲とソロキャストオーディション
⑤	基礎トレーニング・アンサンブル曲レッスン	⑤	基礎トレーニング・アンサンブル曲レッスン
⑥	アンサンブル曲レッスン・ソロレッスン	⑥	アンサンブル曲レッスン・ソロレッスン
⑦	アンサンブル曲レッスン・ソロレッスン	⑦	アンサンブル曲レッスン・ソロレッスン
⑧	アンサンブル曲レッスン・ソロレッスン	⑧	アンサンブル曲レッスン・ソロレッスン
⑨	アンサンブル曲レッスン・ソロレッスン	⑨	アンサンブル曲レッスン・ソロレッスン
⑩	荒通しけいこ→取り出しレッスン	⑩	荒通しけいこ→取り出しレッスン
⑪	仕上げレッスン・ヘアメイク衣装決め	⑪	仕上げレッスン・ヘアメイク衣装決め
⑫	通しけいこ(ヘアメイク衣装付き)	⑫	通しけいこ(ヘアメイク衣装付き)
⑬	場当たり・ゲネプロ(スタジオ内)	⑬	場当たり・ゲネプロ(スタジオ内)
⑭	本番(スタジオ内)	⑭	本番(スタジオ内)
⑮	動画を観ながら反省会	⑮	動画を観ながら反省会
準備学習 時間外学習	ソロ課題曲とアンサンブル課題曲の予習。	評価方法	・出席状況 ・毎授業状況 ・授業内本番の成果 ・試験
受講生への メッセージ	実現場でどんどん活躍する人になってほしいのでハードですが付いて来て下さい！	使用教科書 教材 参考書	楽譜・台本・音源などはその都度でお渡します。

2025年度 授業シラバス

科目名	ポートフォリオ制作	必修 選択	必修	年次	3	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 ホームページの制作や、グラフィックデザインについて更にテクニカルな部分や写真やカメラの使い方を学びます。							
【到達目標】 ホームページの制作、フォトショップやイラストレーターを使用し広告を制作し、マネジメントに必要な技術を習得する。							
【教員の略歴】 映像制作、アパレル、旅行業界などの企画デザインを経て、フリーに。現在はグラフィックデザインを中心に、WEBデザイン、ロゴマーク、パッケージデザイン、テキスタイルデザイン、カメラマンなど、多方面のデザインや編集に携わる。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	写真が上手に取れる構図などの基礎知識	①	トップページの制作 ①
②	スマホを使っでの撮影	②	トップページの制作 ②
③	スマホを使っでの撮影	③	トップページの制作 ③
④	一眼レフの基礎知識	④	サブページの制作 ①
⑤	一眼レフを使っでの撮影(物撮)	⑤	サブページの制作 ②
⑥	一眼レフを使っでの撮影(人物)	⑥	Google map の表示
⑦	一眼レフを使っでの撮影(人物)	⑦	リンクの設定
⑧	写真の編集作業 ①	⑧	CSSの基本知識
⑨	写真の編集作業 ②	⑨	CSSのレイアウト
⑩	写真の編集作業 ③	⑩	CSSのレイアウト
⑪	アルバムの制作	⑪	テキストのデザイン
⑫	合評会	⑫	テキストのデザイン
⑬	WEBデザインの基礎知識 ①	⑬	背景、影、枠線などの操作
⑭	WEBデザインの基礎知識 ②	⑭	モバイル向けのサイトの対応
⑮	WEBデザインの基礎知識 ③	⑮	サイトのアップ
準備学習 時間外学習	宿題は出しませんが、復習とメモを心掛けてください。	評価方法	①授業態度や取り組み姿勢 ②出席率 ③作品のクオリティ ④試験
受講生への メッセージ	パソコンの操作になりますので、一回でも休むと授業についていくのが厳しくなってきますので、休まないように体調管理に心掛けてくださいね。	使用教科書 教材 参考書	

2025年度 授業シラバス

科目名	2DCG	必修 選択	選択	年次	3	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 映像スキルを映像ビジネス場で活かすために必要な企画立案・プロジェクト立ち上げから取材先への交渉・インタビュー・撮影編集の座組や段取りの作り方などプロクリエイターになるために必要な基礎知識・応用知識を学びます。							
【到達目標】 企画立案力・交渉力・成果に向けてのアプローチなどクリエイターとして実際に現場に立った際に役立つディレクションスキルの習得							
【教員の略歴】 読売テレビ報道に配属。07年ディレクターデビュー。YTVにて特集を主に製作。 他カミングコウベ15周年DVD製作委員長・四星球 配信監修・SABOTEN「アサインブレイカー」MV製作などテレビ以外の映像製作も担当							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	自己紹介、映像作品ができるまで、知りたいことヒアリング	①	後期課題発表「フリーテーマで映像コンテンツ作成」 ⇒各自の好きな作品を皆で掘り下げてみよう！
②	企画書製作・スケジュールの立て方・座組とは？ 前期課題「MVを作ってみよう」チーム分け	②	リサーチのコツとは？ 後期課題 リサーチ & 企画書作成
③	MVの作り方・パターン別考察 企画書実践・講評・ブレインストーミングの方法 & 実践	③	後期課題 リサーチ & 企画書 作成⇒プレゼン
④	実践編①インタビュー取材 ⇒実技	④	アボドリ・交渉術 おさらい & 応用編 ⇒製作スケジュール作成
⑤	実践編②MVの作り方⇒企画立案・ロケハン・構成立て 実践編③アボドリとは？ディレクター交渉術	⑤	VTR構成とは？ 後期課題 制作作業
⑥	実践編④ライブ収録 カメラ配置・運営サイドとの調整方法	⑥	「ヒストリーVTR」の作り方① 後期課題 制作作業
⑦	前期課題「MVを作ってみよう」⇒企画書製作・プレゼン	⑦	「ヒストリーVTR」の作り方② 後期課題 制作作業
⑧	「密着取材」とは？人は何に感動するのか？ 前期課題 制作作業	⑧	「ヒストリーVTR」の作り方③ 後期課題 制作作業
⑨	鉄板コンテンツ「グルメVTR」を作るコツ 前期課題 制作作業	⑨	VTRにおけるBGM・効果的なナレーションとは？ ① 後期課題 制作作業
⑩	前期課題 制作作業	⑩	VTRにおけるBGM・効果的なナレーションとは？ ② 後期課題 制作作業
⑪	前期課題 制作作業	⑪	災害・社会問題…映像で社会に関わるとは？ ① 後期課題 制作作業
⑫	前期課題「MVを作ってみよう」発表⇒講評	⑫	災害・社会問題…映像で社会に関わるとは？ ② 後期課題 制作作業
⑬	前期課題「MVを作ってみよう」発表⇒講評	⑬	後期課題 制作作業
⑭	前期課題「MVを作ってみよう」発表⇒講評	⑭	後期課題 制作作業
⑮	捕捉（復習日）	⑮	捕捉（復習日）
準備学習 時間外学習	授業時間外・長期休暇中の制作課題（課題に必要な取材など） ※基本的に取材以外の作業は授業時間内で完結想定	評価方法	試験、課題提出率、課題のクオリティ、チーム内での貢献度、及び出席 状況・授業態度を総合して評価
受講生への メッセージ	皆さんの映像制作スキルを今後プロの現場でより活かせるようにお手伝いできればと思っています。 学ぶというよりも、近い将来と一緒に面白い映像作品が作れるように楽しみながらステップアップしていきましょう！	使用教科書 教材 参考書	Adobe Premiere Pro

2025年度 授業シラバス

科目名	3DCG制作	必修 選択	選択	年次	3	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)	開講区分	通年
12							
2年間で学んだ知識・スキルを就職活動における有効な作品に踏襲させる。 また、個人制作だけでなく、チーム制作を行うことでディレクション能力やコミュニケーション能力を培う。							
【到達目標】 就職活動に有効な作品制作する。 チーム制作におけるディレクション能力を身に付ける。							
【教員の略歴】 タイトルアートにて、CGを使ったOP制作から、番組内に使用される動画、静止画の制作に携わる。その他様々なアニメ作品に携わる。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	●2年で制作したポートフォリオとデモリールを見直し、希望する会社のニーズを把握し前期の授業計画を立てる ●ポートフォリオ、デモリールのデザイン見直し	①	【チーム長編アニメーション】 ●チーム分け●企画立案
②	●ポートフォリオのデザイン見直し 表紙、裏表紙、目次、自己PRページ完成	②	【チーム長編アニメーション】 ●プロット制作
③	●デモリールのデザイン直し OP、END完成	③	【チーム長編アニメーション】 ●コンテ作成●モデル制作
④	●デモリールのデザイン直し OP、END完成	④	【チーム長編アニメーション】 ●コンテ作成●モデル制作
⑤	●作品のブラッシュアップ ●就職用短編アニメーション制作	⑤	【チーム長編アニメーション】 ●モデル制作
⑥	●作品のブラッシュアップ ●就職用短編アニメーション制作	⑥	【チーム長編アニメーション】 ●モデル制作●背景モデル制作
⑦	●作品のブラッシュアップ ●就職用短編アニメーション制作	⑦	【チーム長編アニメーション】 ●モデル制作●背景モデル制作
⑧	●作品のブラッシュアップ ●就職用短編アニメーション制作	⑧	【チーム長編アニメーション】 ●アニメーション制作●モデル制作
⑨	●ポートフォリオの掲載作業、印刷、ファイリング作業	⑨	【チーム長編アニメーション】 ●アニメーション制作●モデル制作●撮影処理
⑩	●デモリールの作品更新作業 ●ポートフォリオとデモリールの一次完成と提出 ●夏休みの作業計画	⑩	【チーム長編アニメーション】 ●アニメーション制作●撮影処理
⑪	●就職用短編アニメーション制作	⑪	【チーム長編アニメーション】 ●アニメーション制作●撮影処理
⑫	●就職用短編アニメーション制作	⑫	【チーム長編アニメーション】 ●アニメーション制作●レンダリング●AE編集
⑬	●就職用短編アニメーション制作	⑬	【チーム長編アニメーション】 ●アニメーション制作●レンダリング●AE編集
⑭	●就職用短編アニメーション制作	⑭	【チーム長編アニメーション】 ●アニメーション制作●レンダリング●AE編集
⑮	前期の講評	⑮	●1年間の講評
準備学習 時間外学習	行きたい会社を調べ、採用に必要な作品の種類を確認しておいてください。	評価方法	出席率 個々の作品の完成と、提出
受講生への メッセージ	今まで学んできたことを作品に反映させましょう。	使用教科書 教材 参考書	ノート、筆記用具、ハードディスク

2025年度 授業シラバス

科目名	音声・音響効果	必修 選択	選択	年次	3	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 PCソフトウェアProToolsの使い方、編集の方法と考え方、ポストプロダクションの基礎を学び、作品を創ることでテクニカルとクリエイティブな知識を総合的に習得します。合同制作や産学協同、WeAreと連携し、作品創造へ臨機応変に対応する授業です。							
【到達目標】 サウンドエンジニアとしての基礎技術を習得							
【教員の略歴】 レーコーディング会社やイベント会社に入社し、レーコーディング・ライブPA・イベントPA・ミュージカルなどいろいろな現場を経験。その経験を経て、独立し「SHOW UP」を設立。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	整音作業とは？なぜ必要なのか？番組クオリティへの影響	①	マルチトラックレーディングの方法とトラックプラン
②	DAWソフトウェアの使い方(ProToolsを使用した音声編集)	②	ミキシング実習(ミュージック)
③	持ち込み音源を使用した1コーラス編集	③	音量(VU)とラウドネスについて
④	持ち込み音源を使用した尺調編集	④	ラウドネスに基づいたミキシング手法
⑤	持ち込み音源を使用したアレンジ編集	⑤	課題:企画制作
⑥	音声卓を使用した録音の方法(音の取込方)	⑥	課題:録音
⑦	録音実習	⑦	課題:録音/整音
⑧	整音実習	⑧	課題:録音/整音
⑨	課題:企画制作→録音→整音	⑨	課題:録音/整音
⑩	課題:整音	⑩	課題:録音/整音
⑪	課題提出+プレビュー(評価対象)	⑪	課題提出+プレビュー(評価対象)
⑫	番組編集(OMFファイルの展開方法)～整音作業	⑫	WeAre制作
⑬	番組技術整音作業	⑬	WeAre制作
⑭	番組技術整音作業	⑭	WeAre制作
⑮	まとめ	⑮	WeAre制作
準備学習 時間外学習	Macの操作方法、ソフトウェアの操作方法が主になります。台数が限られるため、空いた時間に復習したり、不明な点は次回授業までに解決しておく必要があります。	評価方法	出席率、試験での評価、積極性や課題への取り組み、コミュニケーション能力などの平常点を総合的に評価します。
受講生への メッセージ	PCを使った授業になります。PCが苦手な人も多いかと思いますが、ソフトウェアの操作方法を覚えれば作品を創ることが可能です。苦手と思わずに、まずは触ってみて楽しみながら進めていきましょう。	使用教科書 教材 参考書	日々変化する業界です。与えられた教科書は見る意識がなければ無意味です。各々が必要に応じて自ら選択し、必要に応じて入手してください。入手に関するアドバイスはいつでもいたします。

2025年度 授業シラバス

科目名	マネジメント・プロデュース	必修 選択	選択	年次	3	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	120 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
タレントマネージャーに必要な能力の獲得							
【到達目標】							
在学中または卒業後にプロの現場に出ても即戦力で活躍できるようになること							
【教員の略歴】							
映画プロデューサー キャスティングにて各芸能プロダクションと精通							

前期				後期			
授業計画・内容				授業計画・内容			
①	マネージャー基礎学習1			①	映画ドラマ制作工程概論とキャスティングの考え方		
②	マネージャー基礎学習2			②	台本とカメラのある演技		
③	マネジメント方針について			③	オーディション概論Ⅱ		
④	新人発掘基礎			④	オーディション実践Ⅱ		
⑤	新人発掘プレゼン			⑤	新人発掘実践(映像演技受講生と合同で班分け)		
⑥	プロフィール作成Ⅰ-①			⑥	マネジメント方針について班ごとプレゼンテーション		
⑦	プロフィール作成Ⅰ-②			⑦	プロフィール作成Ⅱ-①		
⑧	新人プロモーションプレゼンテーションⅠ			⑧	プロフィール作成Ⅱ-②		
⑨	映像プロフィール作成Ⅰ-①			⑨	映像プロフィール作成Ⅱ-①		
⑩	映像プロフィール作成Ⅰ-②			⑩	映像プロフィール作成Ⅱ-②		
⑪	情勢リサーチⅠ			⑪	情勢リサーチⅡ		
⑫	アタックリスト作成Ⅰ-①			⑫	アタックリスト作成Ⅱ-①		
⑬	アタックリスト作成Ⅰ-②			⑬	アタックリスト作成Ⅱ-②		
⑭	アタックリストプレゼンテーション			⑭	新人タレントプレゼンテーション		
⑮	前期の復習			⑮	後期の復習		
準備学習 時間外学習	毎月教材提示(映画・ドラマ・小説・雑誌など)			評価方法	授業への積極参加と、成果物、試験		
受講生への メッセージ	即戦力として卒業後に活躍できることを最終戦に授業を組みます			使用教科書 教材 参考書	初回ガイダンス時に作品提示		

2025年度 授業シラバス

科目名	撮影ワーク	必修 選択	選択	年次	3	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 動画を作る上で、たくさんの技術者がいる。その人たちと力を合わせないとクオリティの高い動画は作れない。クオリティの高い動画を作るためには、設計図を元に全ての技術者が力を発揮できる現場にすることが重要。設計図というのは、台本である。台本通り、演じられているか。撮影、照明、録音は行えたか。編集、エフェクト、音響効果は施せたか。最終ジャッジするのが監督である。動画の全体像、製作フローを理解し、自分の専門外のことを学ぶことで自身のスキルアップに繋がる。							
【到達目標】 台本に込められた動画の真実を知る。自分専門外の技術部を理解することで、他部門をリスペクトするようになり、技術者全員が力を合わせることでよりクオリティの高い動画に仕上がることを学ぶ。							
【教員の略歴】 今までで、およそ2000本、映像の制作や編集に関わった。ポストプロダクション「イングス」で編集を経験(3年間)テレビ番組制作を経験(5年間)。企業向け動画制作(10年間)。動画業界は今年で19年目。現在、プロデュースと監督を行なっている。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	台本の大切さ(台本の見方・技術の使い方)	①	台本作成・絵コンテ作成(プロモーション・web編 [30秒])
②	台本作成・絵コンテ作成(CM編 [15秒])	②	台本を元に撮影・照明・録音(プロモーション・web編 [30秒])
③	台本を元に撮影・照明・録音(CM編 [15秒])	③	編集・MALた動画を修正・添削(プロモーション・web編 [30秒])
④	編集・MALた動画を修正・添削(CM編 [15秒])	④	発表・総評(プロモーション・web編 [30秒])
⑤	発表・総評(CM編 [15秒])	⑤	台本作成(役者ありの紹介映像編 [2分])
⑥	台本作成(ドキュメンタリー:人物 [2分])	⑥	台本を元に撮影・照明・録音(役者ありの紹介映像編 [2分])
⑦	台本を元に撮影・照明・録音(ドキュメンタリー:人物 [2分])	⑦	編集・MALた動画を修正・添削(役者ありの紹介映像編 [2分])
⑧	編集・MALた動画を修正・添削(ドキュメンタリー:人物 [2分])	⑧	ナレーション原稿作成(役者ありの紹介映像編 [2分])
⑨	ナレーション原稿作成(ドキュメンタリー:人物 [2分])	⑨	発表・総評(役者ありの紹介映像編 [2分])
⑩	発表・総評(ドキュメンタリー:人物 [2分])	⑩	プロの現場に行くための心構え(各現場で気をつけること)
⑪	動画の特徴(言葉の大切さ)	⑪	youtuber方式の構成案(LIVE感)※自由課題
⑫	課題提出(台本[尺:1分])	⑫	youtuber方式の構成案(LIVE感)※自由課題
⑬	動画の特徴(動くこと) ※カメラマンとトークセッション予定	⑬	課題提出(台本[尺:2分])
⑭	編集。音効の特徴(リズム) ※編集マンとトークセッション予定	⑭	youtuberr方式で編集・MALた動画を修正・添削(LIVE感)※自由課題
⑮	コンテンツビジネスとは(日本と海外の違い)	⑮	発表・総評
準備学習 時間外学習	特になし	評価方法	課題提出+授業態度+試験
受講生への メッセージ	技術力の正しい使用法を学びます。自分の目的とミッションの目的の違いを体感。制作、撮影、照明、録音、音効など、さまざまなプロと技術力を合わせることで、より良いパフォーマンスが生まれることを知ります。協力することの大切さを学んでください。	使用教科書 教材 参考書	特になし

2025年度 授業シラバス

科目名	舞台制作	必修 選択	選択	年次	3	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 実践を通して舞台の日常を伝える							
【到達目標】 しっかりとした技術と知識、そして気持ちを持ち表現者に寄り添える舞台人の育成							
【教員の略歴】 数多くの舞台美術/舞台監督を担当							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	本年度の講義内容の説明	①	ミュージカル反省会
②	舞台監督と制作の仕事の割り振り	②	舞台公演に向けての組織作り(1)
③	ミツバチの会議	③	舞台公演に向けての組織作り(2)
④	図面のトレース	④	舞台公演のテーマ作成(1)
⑤	台本を読み取り必要な道具、情景描写を書き出す。(1)	⑤	舞台公演のテーマ作成(2)
⑥	台本を読み取り必要な道具、情景描写を書き出す。(2)	⑥	舞台公演のテーマ作成(3)
⑦	タイムスケジュールの解体と構築	⑦	舞台公演の制作(1)
⑧	制作と舞台監督の打ち合わせの仕方	⑧	舞台公演の制作(2)
⑨	ミュージカル制作(1)	⑨	舞台公演の制作(3)
⑩	ミュージカル制作(2)	⑩	舞台公演の制作(4)
⑪	ミュージカル制作(3)	⑪	試験
⑫	ミュージカル制作(4)	⑫	舞台公演の制作(5)
⑬	ミュージカル制作(5)	⑬	舞台公演の制作(6)
⑭	試験	⑭	舞台公演の制作(7)
⑮	ミュージカル段取り	⑮	舞台公演の段取り
準備学習 時間外学習	特になし	評価方法	講義内容の理解度／授業の態度／積極性／試験
受講生への メッセージ	日々 色々なアンテナを張り「よく見て、聞いて、感じ、考え、答えを出せるように心がけて下さい。」	使用教科書 教材 参考書	

2025年度 授業シラバス

科目名	ステージワーク	必修 選択	選択	年次	3	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 照明の基礎、一般調光卓の使い方を学ぶ。							
【到達目標】 照明の基礎、一般調光卓の操作業界人の心構えを一年をかけて習得する。							
【教員の略歴】 平成4年アンビエンス入社～音響技術者歴8年(吹田メイシアター大ホール常駐2年含む) 以降は照明技術者として20年(市民会館常駐・全国ホール・アリーナ・イベント会場・ライブハウスなど) 日本照明家協会1級取得							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	舞台用語基礎～市民会館・ホールのお仕事	①	夏のチャレキャン・ホテルオブミラクルを終えて。
②	仕事の種類 ～ 就職対策	②	シーンの作り方①
③	照明の仕組み ～ 器具の説明	③	シーンの作り方②
④	器具の使い方	④	シーンの作り方③
⑤	明かりの種類と組み合わせ	⑤	音楽の照明プラン① 楽曲解析とリズム
⑥	ピンスポット基礎	⑥	音楽の照明プラン② Q番号の振り方
⑦	シュートの基礎	⑦	芝居の照明プラン①
⑧	回路取り ～ 仕込み ～ シュート	⑧	芝居の照明プラン②
⑨	音楽の照明を考える・チャレキャン対策	⑨	進路ミュージカル対策 ①
⑩	調光卓の操作 基礎 ①	⑩	進路ミュージカル対策 ②
⑪	調光卓の操作 基礎 ②	⑪	調光卓の操作
⑫	明かり作りの基礎 ① 仕込み図面の書き方	⑫	進級公演に向けて ①
⑬	明かり作りの基礎 ② 情景描写・心理描写	⑬	進級公演に向けて ②
⑭	明かり作りの基礎 ③ フェードチェンジ・カットチェンジ	⑭	進級公演に向けて ③
⑮	ホテルオブミラクルに向けて 安全対策・ホール詳細	⑮	進級公演に向けて ④
準備学習 時間外学習	授業の復習	評価方法	試験、授業態度、授業内評価
受講生への メッセージ	照明を好きになってください。	使用教科書 教材 参考書	PC,モニター、照明基礎の資料

2025年度 授業シラバス

科目名	イベント制作	必修 選択	選択	年次	3	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 エボライトを理解する。							
【到達目標】 照明の仕込み、灯体の種類など基本知識と、一般調光卓の操作を習得する							
【教員の略歴】 ライブハウス照明/ツアー照明スタッフなどを担当							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	電源確認・機材置き場説明・自己紹介	①	仕込み図作成・シュート・LEDを使つての打ちこみ練習
②	ユニット・パッチ盤の説明・灯体の種類・色番号	②	仕込み図作成・シュート・LEDを使つての打ちこみ練習
③	吊り・配線練習・卓説明(パッチ)	③	曲打ち練習
④	吊り・シュート練習・卓説明(打ちこみ)	④	曲打ち練習
⑤	仕込み図書き方・吊り込み・卓説明(打ち込み)	⑤	曲打ち練習
⑥	仕込み図作成・仕込み練習・シュート練習 ①	⑥	曲打ち練習
⑦	仕込み図作成・仕込み練習・シュート練習 ②	⑦	ムービング説明
⑧	仕込み図作成・仕込み練習・シュート練習 ③	⑧	仕込み図作成・シュート・LEDムービングを使つての打ちこみ練習
⑨	仕込み図作成・仕込み練習・シュート練習 ④	⑨	仕込み図作成・シュート・LEDムービングを使つての打ちこみ練習
⑩	仕込み図作成・仕込み練習・シュート練習 ⑤	⑩	仕込み図作成・シュート・LEDムービングを使つての打ちこみ練習
⑪	仕込み図作成・仕込み練習・シュート練習 ⑥	⑪	演習準備
⑫	LED説明	⑫	演習準備
⑬	曲打ち練習 ①	⑬	演習
⑭	曲打ち練習 ②	⑭	演習準備
⑮	曲打ち練習 ③	⑮	総評
準備学習 時間外学習	特になし	評価方法	試験 出席日数 理解度 協力性
受講生への メッセージ	楽しく照明を学びましょう。	使用教科書 教材 参考書	カラーフィルター見本表 革手袋 ライト

2025年度 授業シラバス

科目名	キャリア教育	必修 選択	必修	年次	3	学科	映像・舞台テクノロジー科 屋間Ⅱ部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
合同企業説明会や企業訪問などを通して、業界の方と接点を多く設ける。							
【到達目標】							
2年次で形成した自身のキャリアを基盤に、将来の進路に必要なものを逆算し、それらを育む。							
【教員の略歴】							
秘書検定1級・ビジネス技能検定・サービス接客準1級を取得し、大学・専門学校で約20年秘書検定、ビジネスマナー、就職指導を担当しています。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	スケジュール把握による時間管理向上と前期に向けて(PDCAサイクル)	①	スケジュール把握による時間管理向上と前期の振り返り・後期に向けて(PDCAサイクル)
②	就職対策講座① 会社リサーチ	②	マネー教育 ライフプランを考え、自身のキャリアとのバランス感覚を身に付ける
③	就職対策講座② 履歴書の書き方	③	体育祭 チームワークとリーダーシップをスポーツを通して学ぶ
④	就職対策講座③ エントリーシート対策	④	社会貢献ミュージカル エンターテイメントで社会貢献が出来る事を改めて認識する機会とする
⑤	就職対策講座① 面接対策	⑤	デビューガイダンス①(オータム内) 自己PRを考え自分の強みと弱みを検討
⑥	ITガイダンス&ITリテラシーの重要性 【付与資格】IT理解度テスト合格によりFreeWi-fi使用可	⑥	デビューガイダンス②(オータム内) セルフプロデュース力の強化を通して自己分析を図る
⑦	プロモーションツール制作① 個々の武器となるスキルや表現力見極めそれぞれの感性をさらに磨いていく	⑦	模擬オーディション(オータム内) 本番を想定したプレゼンで自己表現力を磨く
⑧	プロモーションツール制作② 個々の武器となるスキルや表現力見極めそれぞれの感性をさらに磨いていく	⑧	デビュー出陣式 進路先が決定している先輩からの講話を拝聴し、自身の方向性を定めて行く
⑨	合同企業説明会【前期】① 企業様からの説明を通して自身のキャリア発見と形成を促す	⑨	合同模擬面接会① 模擬面接を通して、就職活動における面接の準備をする。
⑩	合同企業説明会【前期】② 企業様からの説明を通して自身のキャリア発見と形成を促す	⑩	合同模擬面接会② 模擬面接を通して、就職活動における面接の準備をする。
⑪	イベント企画① エンターテイメントを創る上で必要となるリーダーシップ・アイデア・イノベーション力を身に付ける	⑪	企業訪問会① 実際の現場に行き、見学することでイメージの明確化を図る
⑫	イベント企画② エンターテイメントを創る上で必要となるリーダーシップ・アイデア・イノベーション力を身に付ける	⑫	企業訪問会② 実際の現場に行き、見学することでイメージの明確化を図る
⑬	イベント企画③ エンターテイメントを創る上で必要となるリーダーシップ・アイデア・イノベーション力を身に付ける	⑬	企業訪問会③ 実際の現場に行き、見学することでイメージの明確化を図る
⑭	スケジュール把握による時間管理能力向上及び、授業アンケート実施における振り返る力の向上を図る	⑭	終業式/グリーンDAY スケジュール把握による時間管理能力向上及び、授業アンケート実施における振り返る力の向上を図る
⑮	前期まとめ	⑮	まとめ
準備学習 時間外学習	授業で学んだことを学校生活以外でも意識して自分の発展に努めてください。	評価方法	試験、出席率とレポート評価
受講生への メッセージ	キャリア教育とは社会人になるための人間形成の一つの手段です。 一緒に色々な自分を発見して成長していきましょう！	使用教科書 教材 参考書	

2025年度 授業シラバス

科目名	表現演習	必修 選択	選択	年次	3	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
①舞台・映画やドラマ・ショート映像など、完成映像作品とシナリオを比較検証しながら、それぞれにおけるシナリオ制作の違いと基礎を学ぶ。「小説」とは違い、脚本はそれ単体が「完成品」ではないことを理解し、自らのイメージを実現するための「設計図をつくる力」を身につける。 ②シナリオ創作⇒発表⇒ディスカッションを繰り返すことで、言語化能力・プレゼン能力を養い、現代に求められる「チームでの脚本制作力」を身につける。							
【到達目標】							
学生それぞれが自ら取り組みたいと思える題材を発見し、それを物語(プロット)に落とし込む。その後、舞台・映像それぞれ媒体を選択し、オリジナル作品として長編シナリオを完成させる。							
【教員の略歴】							
俳優として舞台を中心に活動。その後劇団を立ち上げ数多くの脚本を担当。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	授業の進め方、評価の方法を説明。脚本家の仕事について、教員の略歴を通じて具体的な「なり方」をイメージする。	①	教員著作のフラッシュフィクションを読む①
②	舞台・映画やドラマ・ショート動画のシナリオを見比べ、書式の違いなどを学ぶ。	②	教員著作のフラッシュフィクションを読む②
③	「タイトル」が魅力的な作品を挙げ、その魅力がどこから生まれているものかを分析・検証する。	③	ショートフィルム・ミュージックビデオシナリオ創作①
④	「ログライン」を学び、学生が挙げるいくつかの作品をログラインにまとめ、ストーリーの「ポイント」を発見する。	④	ショートフィルム・ミュージックビデオシナリオ創作②
⑤	映像脚本の3大要素(ト書き、セリフ、柱)について学ぶ。	⑤	映画『バトルキング!! -We'll rise again-』脚本解体①
⑥	魅力的な「登場人物」の創作方法を学ぶ。	⑥	映画『バトルキング!! -We'll rise again-』脚本解体②
⑦	「テーマ」の導き出し方を学ぶ。	⑦	長編作品の題材を見つけ出す。
⑧	「タイトル」「ログライン」「登場人物」「テーマ」を書く。	⑧	「タイトル」「登場人物」「テーマ」などのアイデアを固め、そこから「ログライン」を完成させ、発表する。
⑨	「起承転結」「序破急」「ストーリーサークル」などから、さまざまな物語の「型」を学ぶ。	⑨	長編作品の制作(プロット・企画・プレゼンテーション)プロデューサーに「書いてほしい」と思ってもらうためには?
⑩	「タイトル」「登場人物」「テーマ」などのアイデアを模索する。	⑩	長編作品の制作①(初稿提出⇒フィードバック)
⑪	「タイトル」「登場人物」「テーマ」などのアイデアを固め、そこから「ログライン」を完成させ、発表する。	⑪	長編作品の制作②(再稿提出⇒フィードバック)
⑫	「プロット」を完成させる。プロットを元に、脚本執筆に向けてハコ書き(構成)を学ぶ。	⑫	長編作品の制作③(第3稿提出⇒フィードバック)
⑬	短編シナリオの創作⇒グループディスカッション①	⑬	長編作品の制作④(最終稿提出)
⑭	短編シナリオの創作⇒グループディスカッション②	⑭	完成した脚本を個別に講評する。
⑮	完成した脚本を個別に講評する。	⑮	年間の振り返り
準備学習 時間外学習	適宜「次回授業までに提出」が発生します。	評価方法	試験、出席率、個別の習熟度、授業への取り組み方、提出課題
受講生への メッセージ	基本的にシナリオ制作能力は「書く」ことでしか向上しません。フムフムと話を聞く時間よりも、実践的に手を動かしていただく時間を多く設けたいと思っています。	使用教科書 教材 参考書	自作教材など

2025年度 授業シラバス

科目名	パフォーマンス演習	必修 選択	選択	年次	3	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 ダンスの基礎を学び踊れる身体作りと、表現力をつける。							
【到達目標】 ジャズダンスの基礎を学び、俳優・ミュージカルアクターに必要な表現力・技術を習得する。							
【教員の略歴】 ミュージカルスクールを卒業後ダンサー&振付師として活躍。スペイン村・パレード&ショー振付 多数ミュージカル・CM出演、黒木瞳・森山未来・ユーマン・五木ひろし・BACE吉本 など振付							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	エクササイズ説明①	①	大きく動く①
②	エクササイズ説明②	②	大きく動く②
③	エクササイズ説明③	③	大きく動く③
④	エクササイズ説明④	④	空間を上手く使う①
⑤	エクササイズ説明⑤	⑤	空間を上手く使う②
⑥	基本ステップとテクニック①	⑥	空間を上手く使う③
⑦	基本ステップとテクニック②	⑦	表現力をつける①
⑧	基本ステップとテクニック③	⑧	表現力をつける②
⑨	基本ステップとテクニック④	⑨	表現力をつける③
⑩	基本ステップとテクニック⑤	⑩	ステージを意識して踊る①
⑪	体幹トレーニング①	⑪	ステージを意識して踊る②
⑫	体幹トレーニング②	⑫	ステージを意識して踊る③
⑬	体幹トレーニング③	⑬	後期試験
⑭	前期試験	⑭	総合①
⑮	体幹トレーニング④	⑮	総合②
準備学習 時間外学習	特になし	評価方法	出席率・授業態度・テスト
受講生への メッセージ	授業で学んだことを自主練習でしっかり身体に落とし込んで 身体の基盤を作ってください。	使用教科書 教材 参考書	

2025年度 授業シラバス

科目名	ミュージカル演習	必修 選択	選択	年次	3	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 舞台を制作から出演まで自分たちで考えて実践する							
【到達目標】 舞台を制作から出演まで自分たちで考えて実践する							
【教員の略歴】 1993年～舞台を中心に活動を始め、現在も俳優・脚本・演出などをこなす。2002年より指導者としても活動、今では講演会を含め日本全国を回る。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	学院祭内での舞台制作から発表までを企画する	①	舞台「夢の音がきこえる」チーム別で稽古をしてみる
②	学院祭内での舞台発表にむけて(台本制作)	②	舞台「夢の音がきこえる」稽古チェック・シーン1～3
③	学院祭内での舞台発表にむけて(台本制作)	③	舞台「夢の音がきこえる」稽古チェック・シーン4～6
④	学院祭内での舞台発表にむけて(読み合わせ・稽古)	④	舞台「夢の音がきこえる」稽古チェック・シーン7～10
⑤	学院祭での舞台発表にむけて(本格的な稽古に入る)	⑤	舞台「夢の音がきこえる」パート別レッスン
⑥	学院祭内での舞台発表にむけて(リハーサル)	⑥	舞台「夢の音がきこえる」稽古チェック・シーン11～13
⑦	学院祭内での舞台発表にむけて(チーム演劇本番)	⑦	舞台「夢の音がきこえる」稽古チェック・シーン14～16
⑧	演劇カフェ「〇〇」本読み・キャスティング	⑧	舞台「夢の音がきこえる」通し稽古
⑨	演劇カフェ「〇〇」稽古	⑨	舞台「夢の音がきこえる」リハーサル
⑩	演劇カフェ「〇〇」リハーサル	⑩	舞台「夢の音がきこえる」リハーサル
⑪	演劇カフェ「〇〇」本番	⑪	舞台「夢の音がきこえる」ゲネプロ
⑫	舞台「夢の音がきこえる」制作ミーティング	⑫	舞台「夢の音がきこえる」本番
⑬	舞台「夢の音がきこえる」キャストオーディション	⑬	ひとり芝居に挑戦・届かなかったラブレター 本読み
⑭	舞台「夢の音がきこえる」本読み	⑭	ひとり芝居に挑戦・届かなかったラブレター 朗読
⑮	舞台「夢の音がきこえる」チーム別で稽古をしてみる	⑮	ひとり芝居に挑戦・届かなかったラブレター 表現
準備学習 時間外学習	当たり前台本を丸ごと覚える毎日を	評価方法	試験、出席率(体調管理もプロの仕事)、授業態度(業界は礼儀・マナーが大切なので)
受講生への メッセージ	芝居のことばかり考えている、そんな一年にして下さい	使用教科書 教材 参考書	

2025年度 授業シラバス

科目名	アクティング演習	必修 選択	選択	年次	3	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (4)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
脚本分析、様々なシチュレーションや心情、撮影に合わせて、「なぜ」を追求しながら、俳優部としての幅を広げる。同時に個々のセルフプロデュースの構築を行うため、自身での企画も提案してもらおう。「やりたい、なりたい」に真剣に、ガムシャラに向き合う事。							
【到達目標】							
俳優部として、映像表現における演技力の向上。自身の持つ経験や知識を最大限に生かし、しっかり作品に向き合う。同時に個々・周囲の視野・目標を高める。各回における演技WSや撮影作品の映像が各自のPR、オーディションなどに繋がる武器として活用できるように目指す。							
【教員の略歴】							
数多くの映画作品の助監督を務める。アシスタントプロデューサー、今年公開映画ではプロデューサーを担当。また映画表現のみならず、MVディレクションやアーティストとして活動し、今年には初個展「脳内BEAM」を開催している							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	オリエンテーション / 今後について(卒業制作に向けて)	①	自主企画制作①「例:感情」企画プレゼン・班分け
②	映画制作について / セルフプロデュース / 企画の考案(面談含む)	②	自主企画制作①「例:感情」準備(シナリオ、ロケ申請)
③	<PR映像制作①(20秒)>撮影「伝えたい事」(1人芝居)	③	自主企画制作①「例:感情」実演・撮影
④	<PR映像制作②(20秒)>「なりたい役」シナリオ・衣装案・演技プランの考案(1人芝居)	④	演技WS⑤「テーマ:〇〇」※受講生全員
⑤	<PR映像制作②(20秒)>撮影「なりたい役」	⑤	演技WS⑥「テーマ:〇〇」※受講生全員
⑥	<短編映画制作①> スタッフ顔合わせ・読合せ・衣装合わせ	⑥	演技WS⑦「テーマ:〇〇」※受講生全員
⑦	<短編映画制作①> 演技プラン	⑦	自主企画制作② 衣装
⑧	<短編映画制作①> 撮影週間①	⑧	最終撮影企画 準備(ここまでの中でやってきた内容のブラッシュアップ作品)
⑨	<短編映画制作①> 撮影週間②	⑨	最終撮影企画 準備(衣装合わせ)
⑩	振り返り	⑩	最終撮影企画 準備(ロケハン)
⑪	演技WS①「テーマ:心情など」※受講生全員	⑪	最終撮影企画 撮影
⑫	演技WS②「テーマ:場所など」※受講生全員	⑫	最終撮影企画 撮影
⑬	イメージする～衣装・場所・美術について/既存の作品の再現	⑬	最終撮影企画 編集・SE作成
⑭	演技WS③ 即興芝居 ※様々なシチュレーション	⑭	最終撮影企画 最終レポート・自己PRの構築
⑮	前期のまとめ / 今後について	⑮	出演作品の上映・発表・提出 / 総合まとめ口
準備学習 時間外学習	特になし	評価方法	試験/出席率評価/授業姿勢/実技評価
受講生への メッセージ	俳優部としてアーティストとして表現し、皆さんだからこそ伝えられる空気や言葉、表現の可能性を最大限に悔いなく演じて欲しいです。そのためにこの授業を利用して下さい。視野を広げましょう。	使用教科書 教材 参考書	授業内で使用する映像や映画、各回に合わせた資料の提示口

2025年度 授業シラバス

科目名	進級制作	必修 選択	必修	年次	3	学科	映像・舞台テクノロジー科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 MusicVideoなど音楽と映像の両方を学ぶ授業とします。班ごとに分かれそれぞれの役割を持って実制作していきます。							
【到達目標】 MVやライブ映像の編集のノウハウやテクニックを学ぶ。							
【教員の略歴】 Event、GraphicDesign、WebDesign、映像制作をフリーランスで手掛け、2010年10月 株式会社カナデクラフト 設立							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	挨拶	①	企画書作成
②	企画書作成	②	企画案提出(MV)①
③	企画提案(LIVE撮影)①	③	企画案提出(MV)②
④	企画提案(LIVE撮影)②	④	構成案実施計画案提出(MV)①
⑤	実施計画案作成(LIVE撮影)①	⑤	構成案実施計画案提出(MV)②
⑥	実施計画案作成(LIVE撮影)②	⑥	実施制作(撮影etc)01
⑦	撮影01(LIVE撮影)	⑦	実施制作(撮影etc)02
⑧	撮影02(LIVE撮影)	⑧	実施制作(撮影etc)03
⑨	撮影03(LIVE撮影)	⑨	実施制作(編集)01
⑩	仮編	⑩	実施制作(編集)02
⑪	仮編チェック	⑪	MV発表会
⑫	評論	⑫	評価
⑬	本編集	⑬	実施制作(編集)03
⑭	本編集	⑭	実施制作(編集)04
⑮	完成・発表会	⑮	総評
準備学習 時間外学習	アーティストや外部の人とのやりとりができるようコミュニケーション力を持ってください。時間外学習も必要となります。	評価方法	定期試験 出席率 授業態度
受講生への メッセージ	それぞれ志望する仕事に近い役割を見つけて役割分担を考え、それだけに特化せず、他の役割も意識して日々学ぶておいてください。	使用教科書 教材 参考書	イヤフォン(ヘッドフォン)とHDDが必要必ず持ってきておく事